

# 令和2年度ホタテガイ採苗情報（第8報）

令和2年6月18日



発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター  
関係漁業協同組合

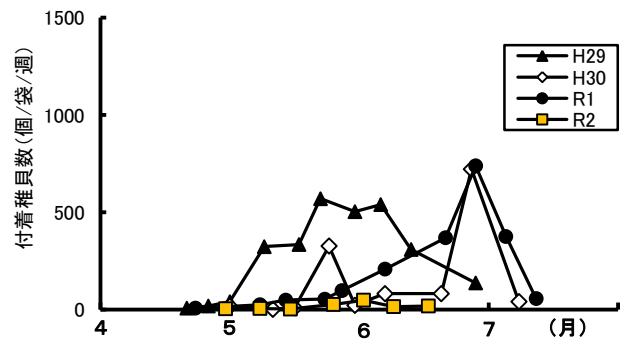
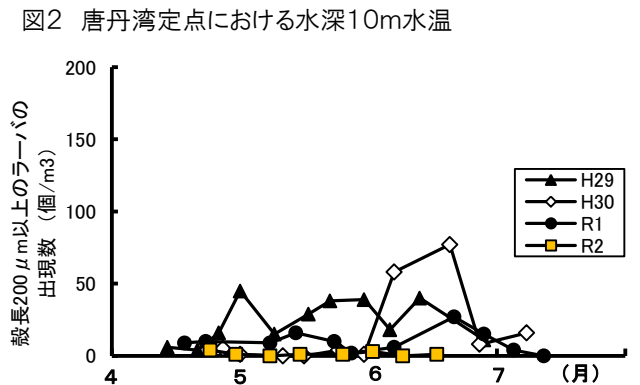
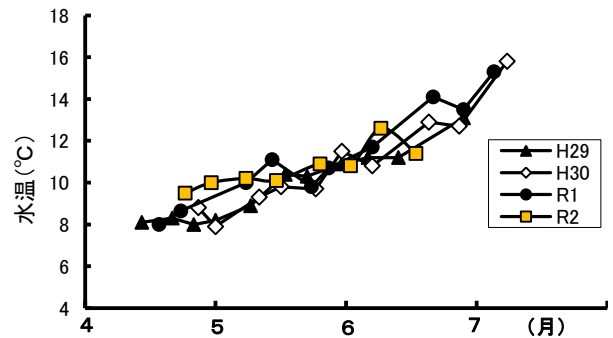
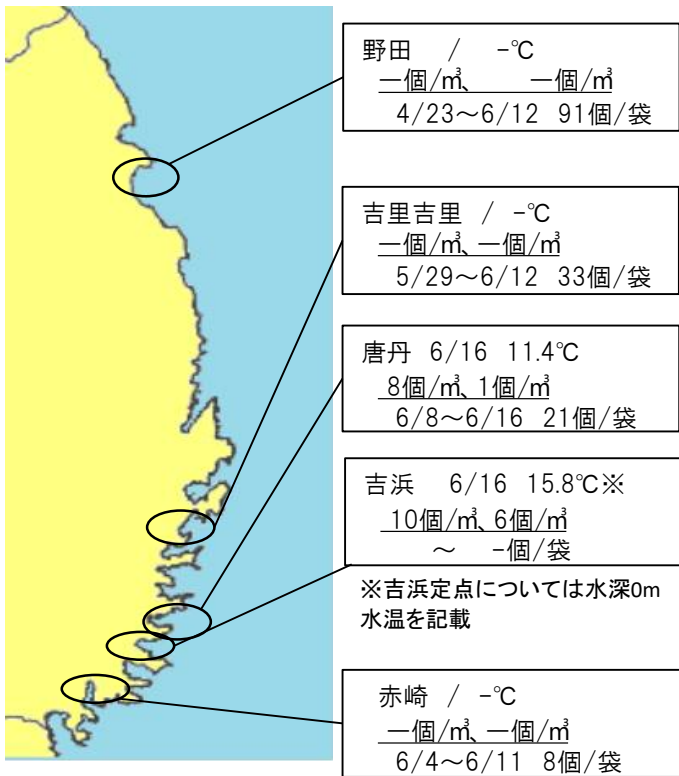
付着稚貝数は低調に推移しています。

## < 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は11.4℃で、透明度は10.0mでした。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが8個/m<sup>3</sup>、200μm以上の大型ラーバが1個/m<sup>3</sup>出現しました。
- 唐丹湾の試験採苗器へは21個体（6/8～6/16）のホタテガイ稚貝が付着しており、うち4個体（17%）が付着直後の稚貝でした。  
（※昨年同時期：369個/袋/週）
- その他の地区におけるホタテガイ付着稚貝数も少ない状況です。
- 一部の地区では、採苗器内にコツブムシが確認されています。

## < 宮城県の状況（6月10日発行ホタテガイ採苗通報（第8報）） >

- 付着稚貝数が増加しました。
- 例年と比べラーバ及び付着稚貝が少ないです。



調査点	調査日	水深10m層水温	ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)	試験採苗器垂下期間	付着稚貝数
-----	-----	----------	---------------------------	-----------	-------

図1 各定点の調査結果  
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、6月24日頃に  
発行する予定です。